

令和6年度 林野庁委託事業

新技術を活かした森林作業システム高度技能者育成研修のうち

育成研修（森林作業システム研修）のご案内

1. 研修の目的

本研修は、効率的な線形で作設された路網を活用して、**安全で効率的な森林作業システムを構築し、実践できる高度技能者（森林作業システム高度技能者）**の育成を目的としています。

高度技能者とは、森林施業の効率化を提案できる高度で専門的な知識と技術を有する者を言います。

2. 研修の内容

- ◆ 効率的な森林作業システムを実践するための基本的な考え方を学ぶ講義
- ◆ 森林作業システムの効率化を学ぶための現地見学
- ◆ 路網を活かした森林作業システムを検討する実習
- ◆ ICT等先端技術の活用に関する知識の習得 等

受講料は無料、研修教材（右図教材）を**無料で配布**



お問い合わせはこちら

 一般社団法人 **日本森林技術協会**
Japan Forest Technology Association

〒102-0085
東京都千代田区六番町7
専用HP:<http://www.f-survey.jp>

電話：03-3261-5497 e-mail：ginouikusei@jafta.or.jp

研修の実施・受講等の手続き・案内については、**ホームページをご覧ください**

3. 受講生の参加資格

- 実際の現場における森林施業の経験を有する者（4年以上）
- 所属する経営体における現状の森林作業システムを把握している者
- 今後、経営体等における森林施業の中心となる者
- 労働災害補償保険の適用を受けている者（個人事業主は問わない）

◎ この研修は、次のような人に向いています

- ◆ 生産性を上げたいが、どうしたらよいか悩んでいる者
- ◆ 現行システムのボトルネックを改善したい者
- ◆ 森林作業システムの効率化の具体例を知りたい者
- ◆ ICT等先端技術の最新情報を知りたい者 等



※受講生には、**自己紹介の際に、経営体の課題や研修で学びたいことを発表**してもらいます。

4. 研修のカリキュラム



木材生産等に関する課題の解決や疑問の解消に向けたカリキュラム

			
現地見学	机上計画	現地踏査	意見交換

5. 研修修了者からの声

- 悩んでいたことを解決するための選択肢をもらったので、今後は実践して活かしたい。
- 今後は、積極的にボトルネックを見つけるようにして、生産性向上に努めたい。
- 経営者のビジョンを認識して、ある程度の数値化をしながら情報共有をする必要があると感じた。
- 「数値で表すこと」や「書面に残すこと」を意識すると、社内での意見交換が活発になるだろう。
- 実習で作業システムの検討を行い、プランナーの大変さが良く分かった。